

荒海山

M・T

期 日：2017年9月26日（火） 晴天

コース：前沢曲屋集落迄13キロ地点チェーン着脱所8：18→一般登山道合流10：12→荒海山山頂西峰12：39→東峰12：58→西峰13：14～24→合流地点15：10→前沢曲屋集落13キロ地点16：19

参加者：M・T

報 告：



2015年9月9日～10日の南会津豪雨災害の影響で八総鉦山跡登山口は通行禁止の立て看板とゲートが置かれている。通るたびに気になっていたが、バリルートで戸坪沢から歩いている記録を読んで行って見ることにした。

国道352号線前沢曲屋集落13km地点の反対側チェーン着脱所で車を降りての登山となる。



道路を横断し一本道を進むが、
入山禁止看板が少し心に引っ掛かる。



1回目の渡渉点。問題なし。

2回目の渡渉点。前日は雨だったが問題なし。



踏み跡は判る。



踏み跡の解からない所も有るが、黄色・赤・ピンクと色とりどりにテープが有りそれを追って行けばルートをそれる心配はない。



賑やかな一般登山道との合流点
誤って進入しないように沢山の枯れ枝が置かれている。





ルート案内が出てきた。一般登山道なので、
踏み跡はしっかりしている。

しっかりしていると言ってもこんな道。

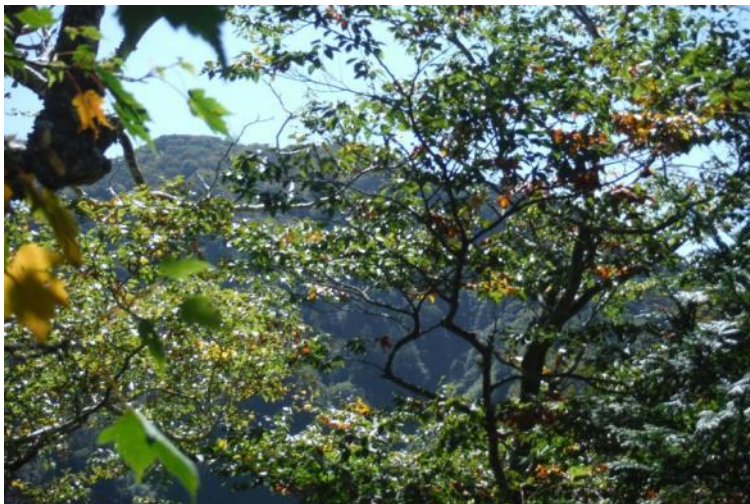
跨いで跨いで歩く。



木の根の階段。



山頂が垣間見える。



登山道に横たわるオブジェ？そっと越えて。





大岩を巻くと
暫く湿ぼったいザイルが続き滑り易い
ので気が抜けない。

山頂がはっきり見えました。



南陵小屋（避難小屋）に着いたら山頂
はすぐそこ。

入口の戸は壊れていましたが、中にノートが置いて
有ったので、名前を書いてきました。



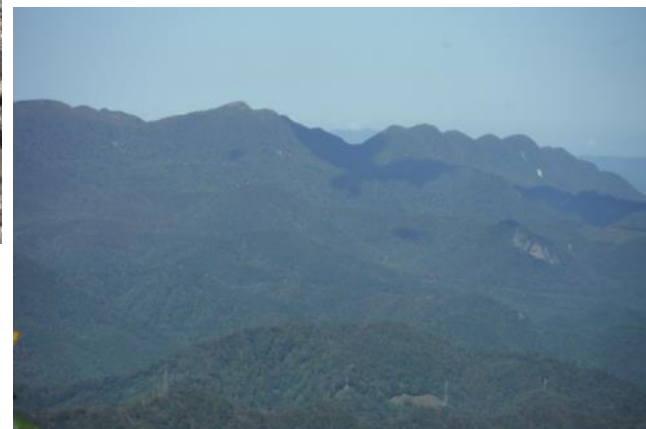
以前は雨量観測小屋だったらしい。





降る雨の一滴は南は太平洋、北は日本海にそそぐ中央分水嶺上に有る双耳峰の山。荒海山(西峰)(太郎岳)

昨年登った七ヶ岳



次郎岳を望む。道は無い。藪漕ぎになるが、今回行かなければもうチャンスは無いだらう。短い距離だが一応コンパス合わせ覚悟を決める。

頭迄すっぽり隠れる藪の中を進む。笹に足を取られ靴紐がほどける始末。ゴーグルを持参しなかった事を悔やむ。三角点峰(東峰)の次郎岳の筈がこちらにも太郎岳と有る。昭文社地図(日光)には次郎岳と有るが?福島県側では荒海岳 栃木県側では太郎岳と呼ばれるらしい。





西峰に帰るルートを確認する。
最初に黄葉するのは漆系なので、注意。

距離は無いので往復で15分。
次郎岳往復時間を含めて50分程山頂でのんびり展望を楽しみ復路を戻った。